

戦争法案

“世論に背く土浦市議会” 27人中

慎重審議を求める陳情に対して 22人が反対

憲法を守り、生かす「憲法共同センター」加盟の8団体から「安全保障関連法案の今国会での強行に反対し、慎重審議を求める意見書を衆参両院議長宛に提出してください」という陳情書が議会に提出されました。

審議した総務委員会では、陳情書の採択を主張したのは久松議員だけでした。

議会最終日6月16日の本会議で、陳情書を不採択にした総務委員会の委員長報告に対して、反対した議員は5人だけでした。

どの世論調査でも6割近い国民が戦争法案に反対ですが、土浦市議会はまるで世論に逆行です。27人中(議長を除く)22人が戦争法案に賛成ということになります。

安全保障関連法案(戦争法案)に対して

	実施時期	反対	賛成
日本経済新聞	6月26~28日	57%	25%
朝日新聞	6月16~17日	60%	23%
毎日新聞	6月26~24日	53%	32%
共同通信	6月20~21日	59%	28%
	平均	57%	27%

日本共産党土浦市議団が 昨年6月に実施したアンケートでは

市民のご意見

▲認めません! 戦争経験者はこの憲法を世界に類を見ない素晴らしい憲法と称賛しています。戦後70年近くこの憲法が維持されたことは我が国の自慢であり誇りです。読売大嫌い。

▲九条は世界的に評価される日本の誇り。

▲世界に誇れる憲法九条を将来も守っていかなければならない。若い人の将来の不安を感じる。

▲九条をよく読みなさい。国際紛争の解決に武力を用いではならない。戦争は地球上のどんなところでもやっつけられないと思ひ知ったはずである。

▲憲法九条をノーベル平和賞に推す運動に賛成です。

▲日本が世界に誇れるのもがあるとするならば唯一憲法九条です。

▲世界に誇る「九条」を捨てる理由がわからない。紛争は武器では解決できない。憎しみは憎しみの連鎖を生むだけ。戦争に送り出した家族に「バンザイ」を叫んだ人はいない。

▲憲法九条は世界に誇れる条文である。マッカーサーが作った憲法かもしれないが、いいものはいい。

集団的自衛権に対して

	賛成	反対	改憲が先	他
総数(人)	97	434	104	63
割合(%)	14	62	15	9



▲正義をかざして人殺し……。泣くのは一般市民。やめて欲しい。

▲政府解釈だけで乗り切ろうとするのはNG。砂川事件を持ち出すのはもってのほか。

▲首相の説明をTVで見たが、国民を助けるため、自衛隊を出すという説明、よくわからない。その自衛隊も国民であるはず。集団的自衛権を考えた方が、真っ先に助けに行か「覚悟」があるか疑問。

▲集団的自衛権の行使を入り口に、ひとたび戦争に巻き込まれれば「限定的承認」で済むだろうか。自衛隊員は他国民を殺し、殺されるもする。そこまでの覚悟が国民にあるか問う。

▲孫や息子を戦場に送りたくない。なし崩し的に徴兵制になるかもという不安がよぎる。

▲戦争を起こさないことを第一に考えるべき。近隣諸国との平和外交をもっと積極的に行う。

▲日本が主導する戦争でなくても、アメリカが参戦となれば必ず沖縄は攻撃対象となるでしょう。

▲戦争になる、止めてほしい。原発テロを考えてしまいます。

▲自分たちの歴史や気持ちをもっと大切にすることが必要だと思う。昔の危ない歴史を繰り返さそう心配だ。

日本共産党土浦市議団 無料法律相談のお知らせ 毎月最終土曜日 午後1時半から (市民会館会議室又は亀城プラザ)

※ 会場は変更になることがありますので、予約の際に確かめてください。

△ 相談時間は30分程度です。要領よく相談して下さい。

△ 完全予約制です。必ず予約してください。

◎ 予約・問い合わせ先

久松 猛 822-6494 井上 圭一 886-4642

共産党事務所 821-5778



年収の1割を超え、家計に重くのしかかる

国民健康保険税の引き下げを



久松 猛 市議会議員

水郷体育館 土日・祝祭日の夜間も 開放すると答弁

県南の市町村で土日・祝祭日に5時で閉館は土浦だけ。夜間の開放を求めた質問に教育部長が答弁しました。

神立都市下水路が大 雨であふれ濁流となり 田んぼに被害

対策を求めたのに対し土のうなどで応急措置はやってきたがその都度流された。地元農家と相談しながら被害対策を進めていくと答弁しました。

国保税の認識を問われた市長は「高いなという印象です」とのべました。全国知事会の国に対する緊急提言でも「被用者保険とくらべて極めて重い保険料」と述べています。滞納者が続出し短期保険証しかもらえない人は3,000人ほどになります。久松議員は「国からの支援金1,700億円は土浦には1から2億円と見込まれます。これを活用して、さらに一般会計から繰り入れを増やし、国保税の引き下げに踏み切るべきだ」と質問。

2,000円引き下げするには1億円、4,000円引き下げするには2億円できると主張。

答弁に立った保健福祉部長は、「国民皆保険としての国保制度の果たす役割は大きく、一般会計からの繰り入れ(現在6億円)は是非もないが、支援金の増額を持って保険税を引き下げることについては難しい。」と答弁。久松議員は引き続き要求していくと語りました。

依然として姿が見えてこない施設一体型小中一貫校

土浦市は平成30年までにすべての小中学校を小中一貫校にするための準備を進めています。土浦二中と真鍋小は平成23年度から一貫校の前の段階の連携教育として試行、翌年の25年に土浦市小中一貫校基本方針を策定、30年度からすべての小中学校で実施するとしています。中でも新治地区の3つの小学校を統合し新治中学校と合体させて施設一体型の一貫校をつくります。そのための校舎建設の準備が進められています。ここでは小学1年生から中学3年生までの生徒が同じ学校で学び、同じ校庭で遊びます。そこでこのような学校はどんな姿の学校になるのかを質しました。

- 校長は一人なのか、
- 1年生から9年生ということになるのか
- 6年生の卒業式はあるのか
- 1年生から6年生も制服となるのか

教育長は「校長は一人と考えているが、その他はこれから3年かけて検討していく」と述べるにとどまりました。これまで5年生・6年生は上級生としての責任からリーダー性を発揮し大きく成長する時期でしたが、一貫校になれば最上級生は中学3年生でこれまでのリーダー性発揮は弱まります。

(インターネットで録画を視聴できます)

6月議会での日本共産党市議団の一般質問より紹介します

初当選後

初めての一般質問&反対討論！

「戦争法案&マイナンバー制度」

市民の声を確実に
議会に届けること
ができました！



井上 圭一 市議会議員

① ごみの分別収集について(4月から実施)

井上：ごみ減量とリサイクル推進に向けた取組み、分別の徹底方法、ごみ量の推移、費用、環境問題を質問！

担当部長：出前講座、地元の環境問題懇談会、さまざまなイベントの機会を活用し周知徹底に努めるほか、市内全家庭に市報・冊子等配布する。本年4月に収集した家庭系燃やせるゴミは、1,913トンで昨年4月の2,737トンから大きく減少。昨年度の収支運搬費用は2億 2,296万円、今年度予算は4

事業系ごみ収集車
(4トン車)



億 1,165万円を計上、焼却・処分費用は4割ほど割り増しとなり、分別収集するほど費用はかさむとの答弁。また、ごみ全体の3割を占める事業系ごみの減量化は今後の課題であり、指導啓発を行って行く。環境問題では、地球温暖化防止は非常に重要と位置付け、十分に趣旨を理解したうえで取り組んでいきます。

② 土浦第二小正門前の通学路について

井上：荒小前のようなグリーン帯歩道を、児童の安全のために設置してほしい！

担当部長：区分されていることをドライバーに対して強く訴えることで、歩行者と車両との接触事故を未然に防ぎ、歩行者に対しても路肩への通行を誘導することで、車道内のはみだしも防げるか、防止できるものと考えている。ただ、二小前の道路については、JRバス出入り口



荒小前グリーン帯

前で幅員が狭く難しい面もあり、今後小学校、警察など関係機関と協議を行って行くとの答弁。

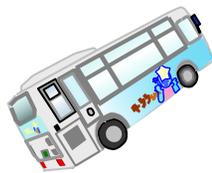
井上：諸条件より子どもの命が大事だと思うが・・・

③ コミュニティ交通(循環バス)の導入について

井上：超高齢化社会で循環バスの整備は緊急の課題！導入条件の緩和を求めました。

中川市長：市といたしまして今後、地域公共交通活性化協議会が中心となって持続可能な公共交通網の形成をし、各種課題の整理を行いながら、公共交通不便地域の解消に努めてまいりますので、ご理解いただきたいとの答弁。

担当部長：「コミュニティ交通導入の手引き」では自治会や商工業者等



で組織する運営委員会の設置と運行経費の3割負担及び地域が主体となって利用促進を図る事が必要。本年度はデマンド型交通より利用者のニーズにあった利便性の高い運行方法についても検討していきたいとの答弁。

井上：積極的な回答は得られませんでした。

次回、改めて質問予定。

井上圭一の基本活動スタイル

- 調査**：アンケートなど市民の声をキャッチし現場に向きしっかり調査する
- 発言**：切実な声をきちんと議会に必ず届けその実現に向け奮闘する
- 報告**：議会の様子を報告会やニュースなどで必ず報告する